

越教組ニュース

越谷市教職員組合
ホームページ



現場実態にあった指導を

「繰り返し指導している」は「徹底」ではない

6月29日に行った市教委交渉の報告です。市教委側からは、教育長ほか20名余りが参加。越教組の実態告発に、「繰り返し指導している」や「適切行われているもの」と思う」などと、実態をつかんでいないと思えない回答でした。

正しい打刻か調査を

【組合】報道では、全国で2割の先生が正確な打刻を求められていない、17%の先生が過少申告をするように言われたと、している。あつてはならぬことだ。越谷の中学校は部活があるのに、在籍時間が小学校よりも異常に短い学校がある。越谷市も調査をすべきだと考える。

【市教委】調査という話

だが、まずきちんと打刻するということを指導していきたい。打刻前の勤務や打刻後の勤務はあつてはならない。また土日も、打刻するように校長会、教頭会において繰り返し指導している。

見て見ぬふりは法律違反

【組合】報道では、教員の半数は休憩時間が0という。越谷市では「きちんと取れている」などと建前の話では、問題は解決しない。A校では、硬筆の代表児童の昼休み練習を休憩時間の確保が難しいというところで取りやめた。現在、小学校の委員会活動や代表委員会など、何曜日どの時間に見て見ぬふりは法律違反教師が関わっている活動があるのかを把握し、休憩時間をきちんと確保している校長がどれだけのいるのか。多くの校長は申し出がないことをいいことに、見て見ぬふりか、そもそも休憩時間を取らせる気がない。言われればしぶしぶ与えるといった具合だ。

【市教委】休憩時間に何か硬筆展の練習とか、そういう

支援担当訪問 弾力的実施に疑問

【市教委】教育長訪問を含め、看板、靴箱表示、お茶などは結構ですとお断りしている。その時間を子どもに向けてほしい。

【組合】東部教育事務所は「支援担当訪問は市教育委員会と学校の意向を踏まえて弾力的な実施ができる」としている。ところが、全員の公開授業はなしで、研究授業でと申し込んだところ、全員公開を入れるように言われた。

校務支援システム 更なる改善を

【組合】校務支援システムは、年度末にアンケートを取っていたが、改善された点が少なく、まだまだ使い勝手がよくない。テスト採点の入力までの設定の煩雑さ、学校

人権の集い 現場の負担軽減を

【組合】そもそも人権の集い関係の事業で児童に鶴を折らせたり灯ろうを作らせたりしているのは堪葛だけだ。その堪葛の中でも、幸手は児童が折

人の配置は行政の責任

【市教委】今回の重点の中で最も重い課題だと認識している。臨採者の登録が非常に少ないが、最大限の努力を継続していく。機会あるごとに県に要望している。

【組合】B校は現在未補充が3名。年度当初に病休が1名。6月に産休に入った方が1名、担任か

事務職にも業務削減を

【組合】給食費徴収の関係で事務職に新たに債権管理簿の作成という仕事が増やされた。そもそも4月から3名入ってこないで、昨年6名いた担当を2名で回している。高学年の空き時間もほとんどない状況だ。そのうえ、4月から病休者が出て、教務主任が担任を兼ねている。このクラスが交代で作っている。業務改善を言うなら、まず人の配置をお願いしたい。

【組合】C校では加配が

未配置・未補充者
全号でお知らせした5/1と6/1の比較だが、数の上では分からない実質的な増減は以下のとおりである。

小学校	解消	育代	1
	新規	病代	4
、中学校	解消	非常勤	2
	新規	加配	1